

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-046  
補助事業名 平成27年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人 発明協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

創造性の高い青少年の国際交流により、参加団員をはじめとした青少年の創造に対する意欲の向上を図るとともに、広く一般に向けて創造性教育の重要性を周知する。また、各国の創造性育成のあり方について議論することで、我が国における創造性育成教育への参考とする。

(2) 実施内容

① 青少年創造性開発育成海外交流派遣団 報告

(<http://koueki.jiii.or.jp/topics/2015/kaigaikoryuhaken/2015IEYI.pdf>)

(<http://kids.jiii.or.jp/modules/d3blog4/details.php?bid=69>)

当協会が実施する「第72回全日本学児童発明くふう展」、「第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」、並びに「第37回未来の科学の夢絵画展」において特に優れた成績を収めた児童生徒による派遣団を結成し、平成27年11月14日(土)～11月20日(金)の期間、台湾 新北市で開催された『2015世界青少年発明工夫展』参加のため派遣した。日本代表として参加した学生・児童は過去最多の10作品12名(うち絵画2作品2名)であったが、全12名が各賞を受賞した。

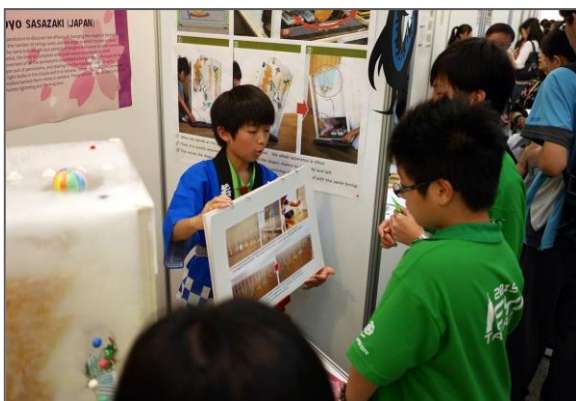


開会セレモニーに参加する馬英九総統  
(右から6人目)、國分団員(右から2人目)



地元学生への説明に対応する海田団員

(別紙5)



各国・地域の学生に作品説明する笹崎団員



地元の学生に作品説明する相生団員



各国・地域の学生と交流する池田団員



受賞後に行った日本派遣団の記念撮影

## ②発明奨励国際フォーラム（IFIP）総会への参加

上記世界展会期中に各国発明奨励団体の代表者が参加して発明奨励国際フォーラム（International Forum for Innovation Promotion(IFIP)）総会が開催された。

## 2 予想される事業実施効果

本事業において他国の文化や社会状況の反映された優れた発明作品に触れ、その制作者である学生と交流することで、国際的な広い視野を獲得した学生が、益々創作活動への意欲を高めることにより、我が国における技術開発力の維持・発展に寄与することができる。また、こうした活動を周知していくことにより、これらの記事を読んだ学生が海外での活動に参加したいという意欲を持つことにつながり、創造への高いモチベーションを獲得することができる。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

(別紙5)

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人 発明協会（ハツメイキョウカイ）

住 所： 105-0001

東京都港区虎ノ門2-9-14

代表者名： 会長 庄山 悦彦（ショウヤマ エツヒコ）

担当部署： 総務グループ（ソウムグループ）

担当者名： 主事 中野 雄生（ナカノ ユウキ）

電話番号： 03-3502-5421

FAX番号： 03-3504-1480

E-mail： y-nakano@jiii.or.jp

URL： <http://koueki.jiii.or.jp/>